

## 第 60 回シンポジウム「日本経済活性化のための外資活用とその規制のあり方」 講師略歴

安田 隆二（やすだ りゅうじ）

一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授。21 世紀政策研究所「企業価値向上のための外資活用策」タスクフォース研究主幹。

1970 年東京大学経済学部卒業。1979 年米国カリフォルニア大学バークレー校大学院政治学博士号取得。

1976 年 Morgan Guaranty Trust Company, N.Y.（現 J.P.Morgan Chase）入社。その後、マッキンゼー・アンド・カンパニー社パートナー、A.T.カーニー社アジア総代表を経て、2002 年より現職。現在、大和証券グループ本社、ソニーなどの社外取締役も務める。

著書に「日本の銀行進化への競争戦略」（東洋経済新報社、2006 年）、「企業再生マネジメント」（東洋経済新報社、2003 年）など。

Lars-Hendrik Roller

ESMT（European School of Management and Technology）学長。

ペンシルバニア大学理学修士（コンピューター・情報科学）経済学博士取得。

ペンシルバニア大学経済学部を振り出しに、INSEAD 教授、ベルリン・フンボルト大学特任教授、WZB の”Competitiveness and Industrial Change”研究所理事、EC の初代 Chief Competition Economist 等を歴任の後、2006 年より現職。WZB の Research Professor、フンボルト大学教授を兼任。

2009 年現在、German Economic Association 議長、BRUEGEL（Brussels European and Global Economic Laboratory）Non-Resident Senior Fellow 等も務める。2002 年には Gossen Prize（業績が国際的に評価されたドイツ人エコノミストに German Economic Association から与えられる）を受賞した。

多数の国際的な新聞・雑誌の編集に携わり、競争政策、技術、市場構造について広範囲に意見を発表している。国際的な企業や政府、国際機関のコンサルタントとしても活躍。

阿達 雅志（あだち まさし）

ポール・ワイス・リフキンド・ワートン・ギャリソン外国法事務弁護士事務所顧問。

21 世紀政策研究所「企業価値向上のための外資活用策」タスクフォース委員。

1983 年東京大学法学部私法コース卒業。1992 年ニューヨーク大学ロースクール比較法修士（MCJ）取得、1993 年同大学法学修士（LLM）取得。同年ニューヨーク州弁護士に登録。

1983 年 住友商事株式会社入社。ニューヨーク駐在、北京駐在等を経て 2000 年退職。

2004 年より現職。2006 年 7 月、参議院選挙に自由民主党比例代表候補として立候補し、次々点（170,088 票）となる。テレビ出演、雑誌、新聞等への寄稿でも活躍。

杉山 美邦（すぎやま よしくに）

読売新聞東京本社調査研究本部総務。

1978 年読売新聞社入社。金沢支局を振り出しに、経済部、政治部、ワシントン支局特派員、論説委員、経済部長、編集局次長等を経て、2008 年より現職。政府税制調査会、経済産業省企業税制研究会、法務省外国弁護士制度研究会の委員も務める。

著書に「自動車産業は生き残れるか（共著）」（中央公論新社、2008 年）など。